

美里中学校保護者 様

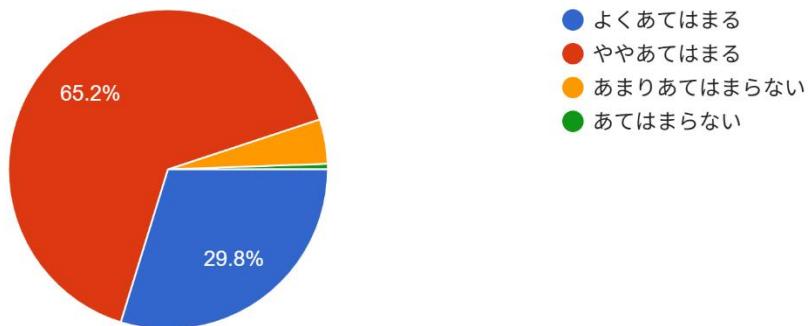
令和 7 年度 保護者 学校評価集計と分析

学校評価をいただき、ありがとうございました。また、貴重なご意見をありがとうございました。よりよい美里中学校になるように全職員で力を合わせて教育活動を進めてまいります。今後ともご支援・ご協力をお願いします。

【学校全般・学習環境について】

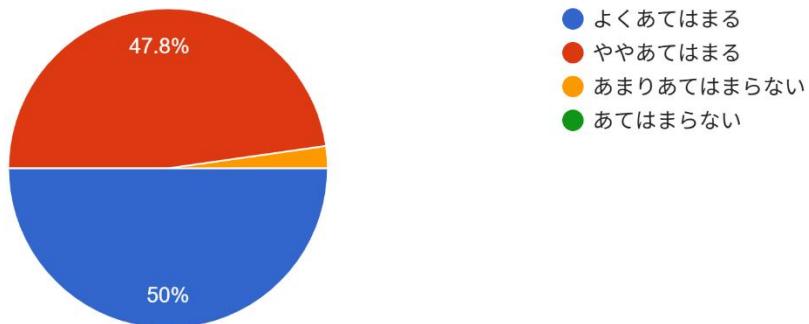
1 学校は、保護者・地域の願いや要望に応えた教育活動を行っている。

178 件の回答



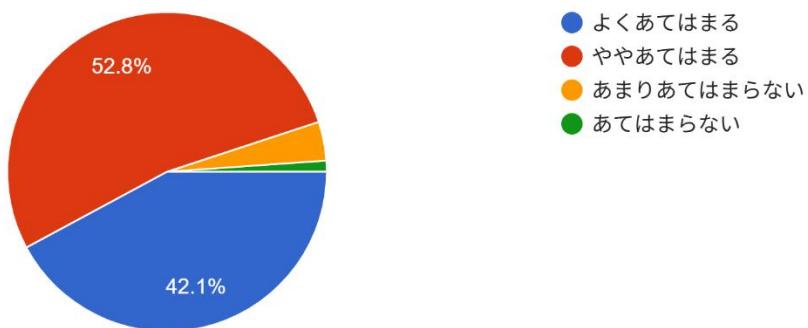
2 学校は、学校便りなど各種便り、HP、マチコミメールで学校の様子を伝えている。

178 件の回答



3 学校は、生徒にとって安全で過ごしやすい環境になっている。

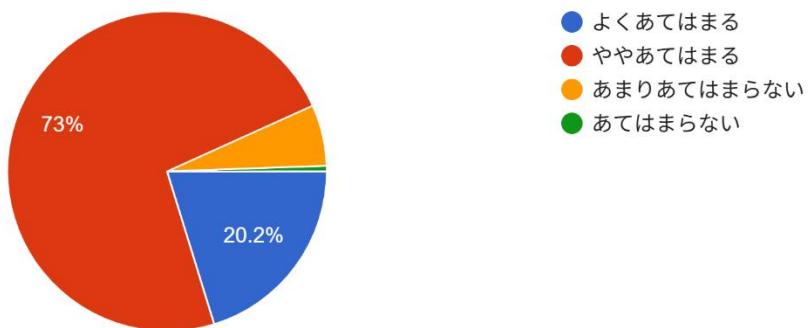
178 件の回答



【授業・教職員についての考察】

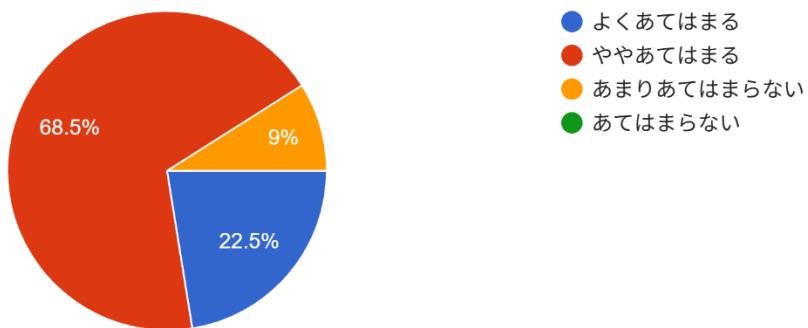
4 授業は、生徒にとってわかりやすい授業が展開されている。

178 件の回答



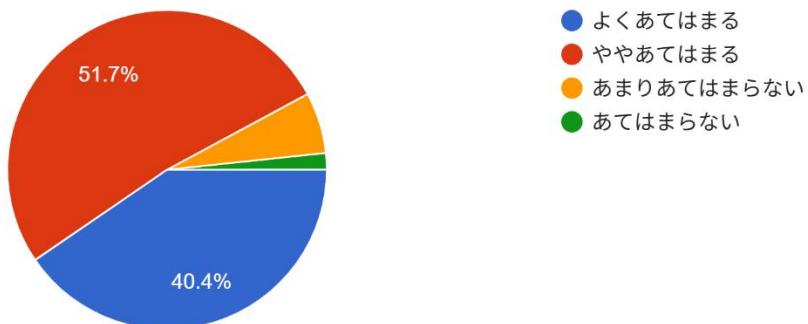
5 アウトプット活動や自治力の向上を目指した教育活動が展開されている。

178 件の回答



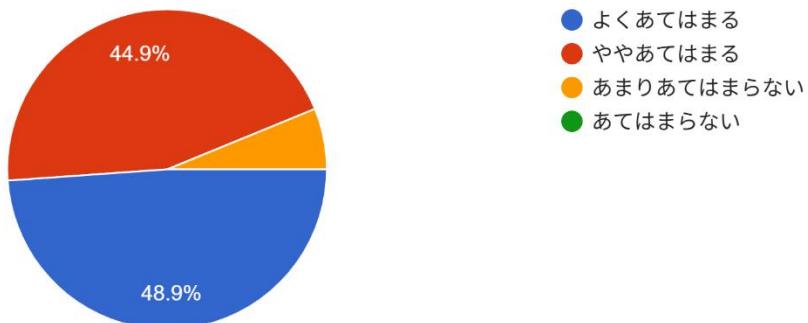
6 教職員は、生徒の相談に、親身に応じてくれる。

178 件の回答



7 教職員は、礼儀正しく、対応がきちんとできている。

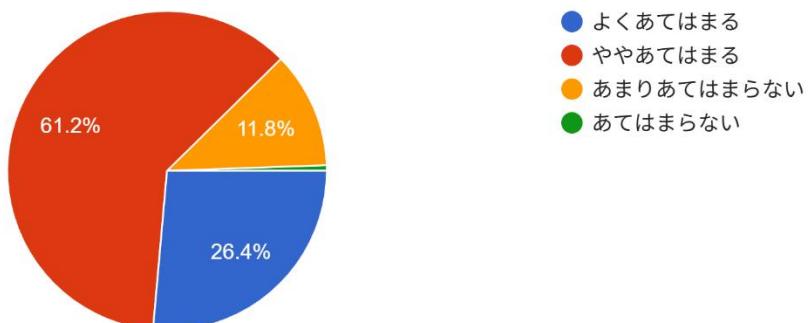
178 件の回答



【生徒の様子についての考察】

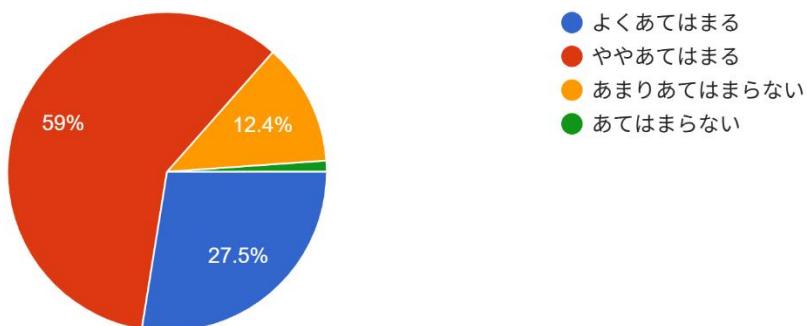
8 お子様は、自ら進んでよりよい生活をしようと頼もしくなった姿が見られる。

178 件の回答



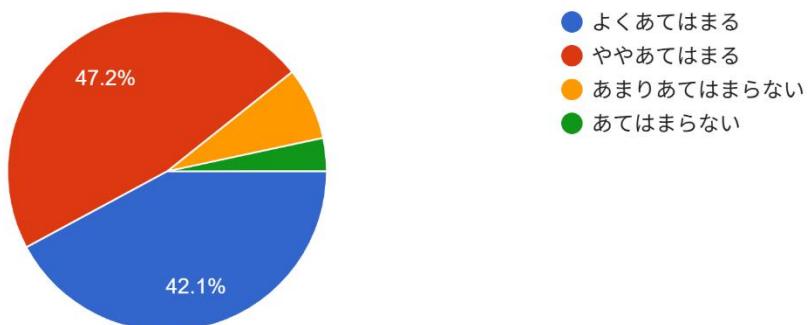
9 お子様は、あいさつ・返事ができている。

178 件の回答



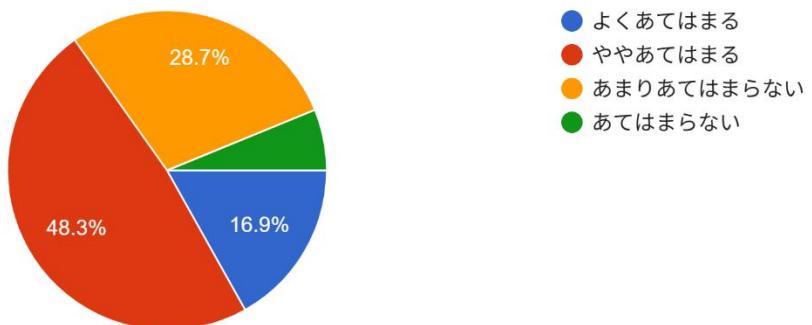
10 お子様は、学校行事や部活動などに生き生きと活動している。

178 件の回答



11 お子様は、自ら進んで学習に取り組んでいる。

178 件の回答



その他

【学校全般・学習環境についての考察】

【学校全般・学習環境】の項目では、「よくあてはまる」「ややあてはまる」と回答した保護者の割合は、すべての項目で90%を超える評価をいただきました。

特に「学校は、学校便りなど各種便り、HP、マチコミメールで学校の様子を伝えている」の項目では「よくあてはまる」「ややあてはまる」と回答した保護者の割合が昨年度より上回る評価をいただきました。

今年度は、目指す学校像を「一人ひとりが輝き、出番のある学校」を重点に学校の教育活動を充実してまいりました。体育祭や合唱コンクールなどの実行委員会を中心とした生徒主体の運営、生徒評議会や部長会を軸とした生徒の自治的活動の支援、学校運営協議会や美里町議会議員と生徒会本部役員が熟議実施など、保護者・地域の皆様に生徒の活躍する場面が見ていただけたと評価しております。3学期には生徒が主役となり、在校生の気持ちが卒業生に伝わる3年生を送る会を計画しています。

しかしながら、各項目において「よくあてはまる」に限って見ると「ややあてはまる」をすべて上回らない結果となりました。次年度は、「よくあてはまるが」が上回るよう今回の学校評価や学校運営協議会で頂いた意見を参考にさらに願いに応えられるよう努力してまいります。

○今後に向けて

学校教育目標「学び 共感し 鍛え 10年後の社会を形成する生徒の育成」の達成に向け、美里中学校の生徒が、複雑で激しく変化する10年後の社会を生き抜くために必要な力を身につけ、自分らしく生きられることを目指し取り組んでいます。

今後の重点として「生徒が自分で問い合わせ、仲間と深く対話しながら主体的に学ぶこと」を大切にしています。このような学びを通じて、生徒は自分の意志で行動し、社会に働きかけながら、未来をよりよくしていく力を育んでいくことを目指します。そのために教師は、生徒一人一人の考え方や価値観に耳を傾け、対話を重ねながら生徒のエージェンシー（自分の意志で行動する力）の育成に努めます。例えば、答えが一つに決まらない問い合わせを提示し、生徒が自分の考え方を言葉にする場をつくり、異なる意見や背景を「間違い」とせず、学びの大切な材料として活かしていきます。

また、生徒が主体的に「選択」と「調整」を行いながら学びを深め、探究的な学習を通して確かな学力を育みます。「好き」を育む授業によって学習への意欲を高め、「得意」を伸ばす授業によって自信と達成感を積み重ねていきます。さらに、AIを活用した学習にも取り組み、AIを学習の補助として活用することで、生徒自身が学習方法を工夫し、理解を深める機会を広げていきます。

【授業・教職員についての考察】

【授業・教職員】の項目では、「よくあてはまる」「ややあてはまる」と回答した保護者の割合は、すべての項目で90%を超える評価をいただきました。

「授業は、生徒にとってわかりやすい授業が展開されている」では、肯定的な回答は93.2%で昨年度より高い評価をいただきました。本年度は、「自らの考えをアウトプットできる生徒の育成～生徒同士の対話を生み出す授業実践～」と設定して取り組んでいます。生徒が見通しをもって粘り強く取り組み、次につなげることができるための自己の学習活動の振り返りは継続して実施しています。今年度の重点として、アウトプット活動を充実させています。全教科でアウトプット（生徒自らの考えを書く、説明し、相手にわかるように伝える）の授業を行い、そのための発問の工夫や授業作り（学級経営の充実）が、多様な問題を解決する基礎が身につくと考えています。また、年度初めに、HPで公開しているシラバスを使い、「何ができるようになるか」の目標を生徒と共有しています。各教科等の学ぶ意義を生徒と共有しながら授業を行っています。

「アウトプット活動や自治力の向上を目指した教育活動が展開されている」では「よくあてはまるが」と回答した保護者の割合が昨年度比べ3.9%増の評価をいただきました。全国学力・学習状況調査から「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」の質問に対して全国に比べ約+10、県に比べ約+8ポイント、「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」の質問に対して全国に比べ約+10ポイント、県に比べ約+9ポイントという県・全国を大幅に上回

りました。今年度は「自らの考えをアウトプットできる生徒の育成」を研究テーマとし、「対話」を大切にした授業を行っています。10月に「対話」をキーワードに美里町教育委員会研究委嘱学力向上研究発表を行いました。「自らの考えをアウトプットできる生徒の育成」の実践として、「リーダーシップ」を育成しています。それが身に付くことで、深い思考ができ、他者を尊重でき、対立の解消に向けて動くことができると考えています。リーダーシップやフォローアップ、合意形成といった社会に活ける実践力を、生徒が対話を通じて身につけるため、3年間を見据えた「リーダーシップ講座」を計画的に行っていきます。

○今後に向けて

教師は授業内での発言を精査し、生徒が多くのアウトプットをする場面を設けることにより、課題の解決に努めています。本校は教師同士で授業を参観し合う「相互授業参観」を実施し、教師は他教科の授業を参観することから、教科横断的な視点で授業改善を行っています。「主体的・対話的で深い学び」を実現するためにも、授業でのどのような活動にどれだけ時間を費やしているのかを分析し、教師自身も日々の授業の振り返りを習慣的に行っていきます。

また、「生徒たちが自己理解を深め、多様な視点から物事を考える力を養う」ことを目的としている探究学習を昨年度に引き続き、鹿島建設と連携し実施しています。今年度は2・3学年交流で5つのグループに分かれ、「まちづくり」をテーマに探究学習を進めています。講師として美里町生涯学習課等の職員を招き、指導から講評まで行っています。探究学習のまとめとして、2月授業参観での発表に向けて、生徒は美里町を題材として自ら課題を発見し、問題解決に取り組み、探究のスキルを身に付けていきます。

【生徒の様子についての考察】

「お子様は、学校行事や部活動などに生き生きと活動している」では、肯定的な回答は89.3%で昨年と同様高い評価をいただきました。お子様は、学校行事や部活動において主体的に取り組み、仲間と協力しながらいきいきと活動しています。たとえば、体育祭では学級の枠を越えて声を張り上げ、仲間を励ます姿が印象的でした。また、自分の役割を責任をもって果たし、準備段階から本番まで仲間と協力しながら体育祭を成功に導きました。部活動においても、日々の練習に真剣に取り組み、試合等では最後まで諦めずにプレーする姿勢が仲間に良い刺激を与えています。こうした経験を通じて、生き生きと活動する姿につながっていると考えております。

「お子様は、自ら進んで学習に取り組んでいる」については、30%超が否定的な評価となりました。生徒が自律的に学習できるようにするために、家庭学習にも力を入れ指導しています。生徒が計画的に家庭で学習に取り組めるようにするために、「ワーク強化週間」を設定し、ワークなどの問題集を家庭で学習し提出する期間としています。家庭でも提出物や課題を把握し生徒を支援できるように、HPに定期テストの範囲や長期休業の課題を掲載しています。また、各教科のシラバス(HPに掲載)においても、家庭学習の内容を設定しております。ご家庭では、学習環境を整え、毎日一定の時間に机に向かう習慣づけを支援していただければ幸いです。今後も学校と家庭が協力し、子どもたちの学びを支えてまいりたいと考えております。

○今後に向けて

生徒を自律的な学習として育てるために、生徒に家庭学習の取組状況や改善点などについてのアンケートを実施し、その結果からわかったことを学校の改善点とし、生徒に寄り添った支援をしてまいります。引き続き、定期テストに向けた学習をさらに計画的に行えるようにするために、マチコミにて定期テスト範囲や長期休業の課題を配付した旨をお伝えします。美里中のHPをご確認いただき、ご家庭での学習の支援にご活用ください。

家庭学習は、学校で学んだ内容を定着させるだけでなく、自ら学ぶ姿勢を育む大切な機会です。また、保護者の皆様による声かけや励ましは、子どもたちに「家庭学習の大切さ」を感じさせる大きな力となっています。今後も、家庭と学校が連携し、子どもの学びを支えることができるよう取り組んでまいります。

＜保護者の皆様からのご意見に対する回答＞

様々なご意見や感謝のお言葉をいただきありがとうございました。皆様からのご意見に対する回答をさせていただきます。

1 先生方のやりとり帳の記載や部活動の指導ありがとうございます。

平素より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。アンケートでは、日々のやりとり帳について「先生方が丁寧に記載し、生徒の安心につながっている」とのご意見をいただきました。やりとり帳は学校と生徒、そして家庭を結ぶ大切なツールであり、今後は ICT の活用の検討も含め、今後も一層活用を進めてまいります。

また、部活動に関しては「顧問の先生が電話やお会いした際に子どもの様子を伝えてくださり、安心でできます」との声をいただきました。部活動は学習面だけでなく 人間関係や心身の成長にも大きな役割を果たす場です。顧問をはじめとする指導者が生徒一人一人に目を配り、保護者の皆様と情報を共有しながら、安心して活動できる環境づくりに努めてまいります。 いただいたご意見やご要望は、今後の教育活動の改善に活かし、子どもたちがより充実した 学校生活を送れるよう取り組んでまいります。

2 暑い時期に寒い日もあります。動きやすいジャージでの自転車登校をしてもよいですか。

本校では原則制服での登下校ですが、生徒の自転車通学の中で、部活動終了後にジャージでの下校を認めています。暑さ対策における服装として、令和7年度は、6月2日（月）～10月3日（金）まで半袖・ハーフパンツまたは制服での登下校可としました。季節の変わり目で寒いときなどは、半袖・ハーフパンツの登下校だけでなく、制服着用での登下校は可能となっております。

今後、服装を含め校則の一部改定等においては、社会環境の変化や生徒の学校生活における実態を踏まえ、より安全で快適な学習環境を整える必要があります。生徒自身の意見を集約し、話合い等を通じて、教育的観点から妥当と認められる判断をしていきますので、引き続き保護者の理解と協力を得ながら適切な運用を継続してまいります。

3 家庭での野外体験活動等を充実させるために、夏休みや冬休みの宿題の量を減らすことは可能でしょうか。

宿題は、学習習慣の定着や授業内容の理解を深めるために設定しています。量や内容については、生徒の生活全体とのバランスを考慮する必要があると認識しています。

読書感想文や自由研究、発明創意くふう展等については、必ずしも全員が出品する形ではなく、複数の課題の中から選択して取り組む方式や、各教科でワークやプリント等の宿題については、2学期・3学期の授業に直結する課題を精選する方式など、適切な量を検討いたします。

学校での部活動や家庭での体験活動など、学校内外での活動は子どもたちの成長にとって大切な学びの場です。宿題の量を調整することで、学校・家庭・地域での体験活動がより充実するよう配慮してまいります。

4 衣服だけの調整でなく、学校での熱中症への対策はどうしていますか。

近年の夏季は気温だけでなく湿度も高く、体感的に非常に厳しい環境となることが多く、熱中症の危険性は年々増していると認識しております。本校では、今年度「室温 28 度を目安に冷房を使用する」という基準を設けてまいりましたが、実際には湿度や風通し、生徒の体調などによって体感温度は大きく異なります。そのため、今後は室温だけでなく湿度や体感温度を考慮し、必要に応じて冷房を使用するよう運用基準を検討するなど、空調設備の運用方針や健康管理体制について改善を進めてまいります。

以上、今後ともお気づきの点がございましたら、ご意見をお寄せいただければ幸いです。